

2015年11月17日

株式会社 HAROiD

HAROiD、CG テロップシステム大手3社(業界導入シェア 97%)と
リアルタイム投票システム連携で合意

株式会社 HAROiD(東京都港区、代表取締役社長:安藤聖泰)は、視聴者参加番組の幅広い展開を目指して、株式会社朋栄(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長:清原 克明)、NIXUS 北海道日興通信株式会社(本社:北海道札幌市中央区 代表取締役社長:鈴木 範夫)、株式会社ラムダシステムズ(本社:東京都世田谷区 代表取締役社長:安藤 寿一)CG/テロップシステム大手3社とシステム連携し、リアルタイム投票企画の推進に向けての環境構築を協力して取り組むことを発表いたします。

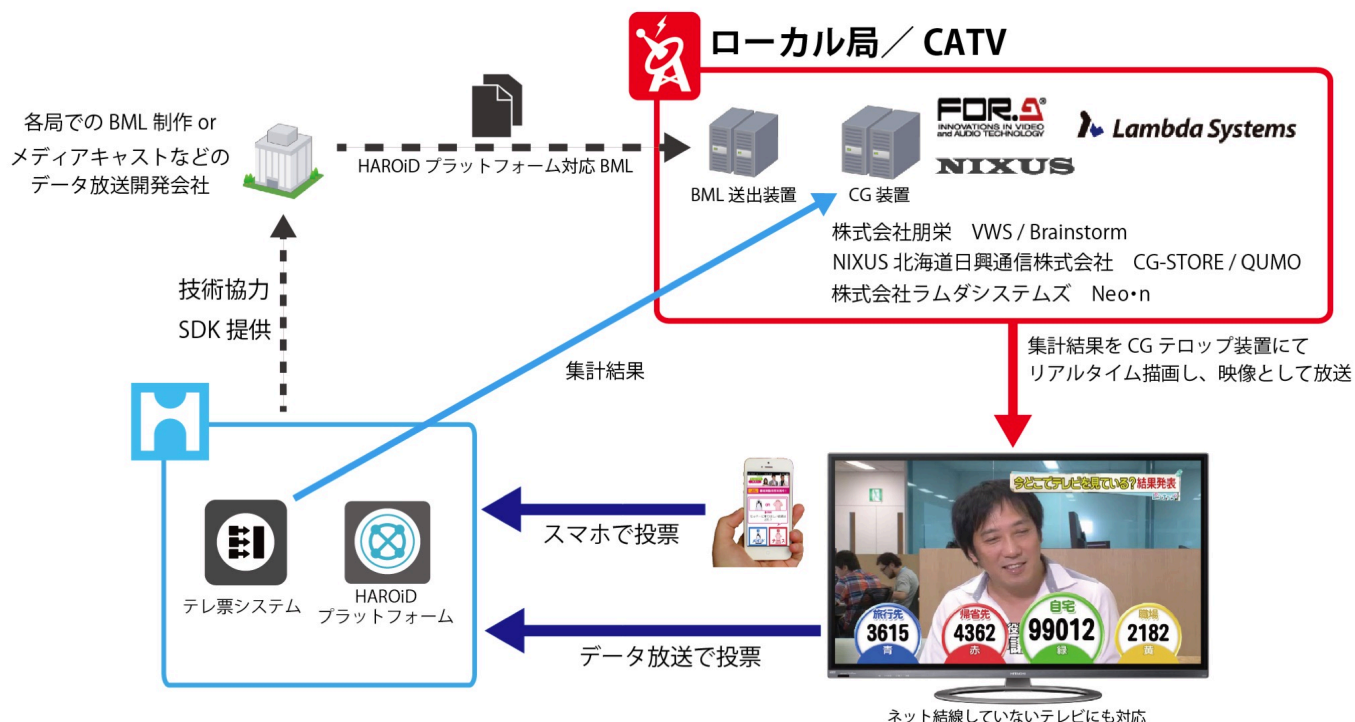
HAROiD のテレビ投票システム「テレ票」は、リモコンやスマートフォンを経由した多くの視聴者の投票などを瞬時に集計し、それをリアルタイムにテレビ放送画面にビジュアライズすることができ、これまで複数のテレビ局の参加型番組企画に利用されてきました。しかしながら、テレビ放送画面に CG として表示する際、放送局ごとに機器のメーカーや運用方法、データ形式が異なり利用拡大の際に大きなハードルとなっていました。

上記3社は、日本国内における地上波民間放送テレビ局全 127 局のうち 97%となる 123 局に既に CG/テロップシステム導入しており、ニュース、情報番組、スポーツ中継、選挙番組のテロップやスポンサーの提供テロップ、最近では Twitter の投稿をテレビ画面に表示するなどリアルタイムな情報を視聴者に伝える手段としても日々活用されています。

今回、HAROiD のインタラクティブ投票システム「テレ票」と3社の CG テロップシステムが HAROiD プラットフォームとの接続を可能とし、通常の CG テロップの運用の延長で視聴者の声をリアルタイムに映像に反映できる環境が多くのテレビ局に提供できることとなります。

これに先立ち、HAROiD 及び上記3社は連携して、来る 2015 年 11 月 18 日(水)から 20 日(金)に幕張メッセにて開催される国内最大の放送機器展「Inter BEE 2015」のそれぞれのブースにて各 CG テロップシステムが HAROiD プラットフォームとの接続したデモンストレーションを展示いたします。

HAROiD では、放送を起点としたネット連携や双方向サービス・スマートフォンを組み合わせた新しいビジネスの推進を加速させます。そして、全国のローカルテレビ局やケーブルテレビでも、低予算、少人数でも容易にサービスが実現できる番組企画や環境などを提供していく予定です。



【各メーカー対応機器一覧】

株式会社朋栄

VWS / Brainstorm

NIXUS 北海道日興通信株式会社

CG-STORE / QUMO

株式会社ラムダシステムズ

Neo・n / GRID

【国際放送機器展InterBEE展示ブース】

会期:2015年11月18日(水)~20日(金) 10:00~18:00(最終日は17:00まで)

会場:幕張メッセ(千葉市美浜区)

株式会社朋栄

ホール4 ブースNo.4208

NIXUS 北海道日興通信株式会社

ホール3 ブースNo.3107

株式会社ラムダシステムズ

ホール4 ブースNo.4301

株式会社 HAROiD

ホール6 ブースNo. 6708

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社HAROiD

press@haroid.com

株式会社朋栄
営業統括本部 国内営業本部
TEL: 03-3446-3121
E-mail: sales@for-a.co.jp

日興通信株式会社(NIXUS北海道日興通信株式会社)
担当: メディア事業部
TEL: 03-5451-1751 / Email: nixus@nikkotelecom.co.jp

株式会社ラムダシステムズ
担当: 営業窓口
TEL: 03-5787-3571 / Email: grid@lambda.co.jp
<http://www.lambda.co.jp>